

平成23年度版

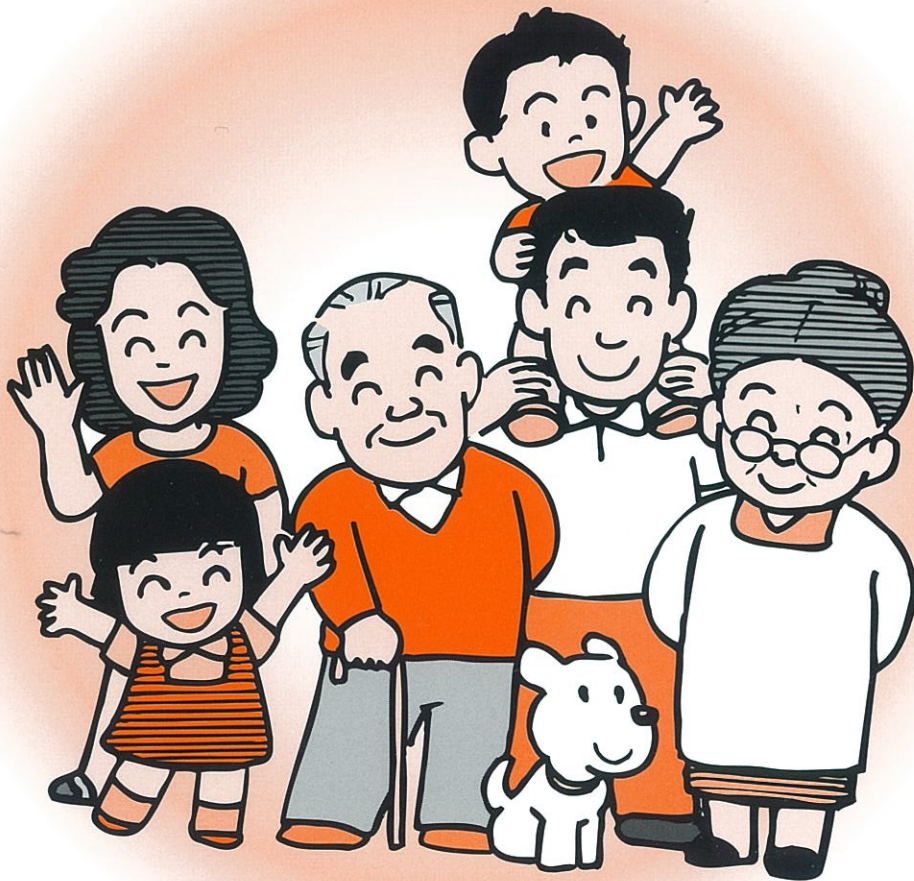


平成22年度

# 国民健康保険・後期高齢者医療

の

## 概要



宮城県保健福祉部国保医療課

## 1 国民健康保険関係

(1) 国保の被保険者数	
① 国保被保険者数の推移	1
② 国保被保険者数の増減（異動理由別）	1
③ 平成22年度国保加入率	2
(2) 国保の財政(1)	
① 歳入の推移	3
② 歳出の推移	4
(3) 国保の財政(2)	
① 平成22年度実質収支率	5
② 形式収支率（平成22年度）	6
③ 単年度実質収支率（平成22年度）	6
(4) 国保の財政（税）	
① 平成22年度1人当たり保険料（税）調定額（現年分）	7
② 1人当たり保険料（税）調定額（現年分）の推移	7
③ 平成22年度保険料（税）収納率（現年分）	8
④ 保険料（税）収納率（現年分）の推移	8
(5) 国保の医療費	
① 医療費の推移	9
② 平成22年度1人当たり医療費	10
③ 1人当たり医療費の推移	10
(6) 国保の地域差指数	
① 平成21年度地域差指数	11
② 地域差指数の推移	12
(7) 国保の指標（平成22年度）	
・指標1 国民健康保険加入率	13
・指標2 1人当たり調定額	13
・指標3 応益割合（一般被保険者分）	13
・指標4 保険料（税）収納率	13
・指標5 市町村別医療費	14
・指標6 1人当たり医療費（一般）	14
・指標7 "（退職）	14
・指標8 "（全体）	14

## 2 後期高齢者医療関係

(1) 後期高齢者医療被保険者数	
① 老人医療受給者数及び後期高齢者医療被保険者数の推移	15
② 平成22年度後期高齢者医療被保険者数の人口に対する割合	16
(2) 後期高齢者医療費	
① 老人医療費・後期高齢者医療費の推移	17
② 平成22年度市町村別後期高齢者医療費	18
(3) 1人当たり後期高齢者診療費	
① 平成22年度1人当たり後期高齢者医療費	19・20
(4) 診療費の3要素	
① 平成22年度受診率	21
② 平成22年度1件当たり日数	22
③ 平成22年度1日当たり診療費	22

## 3 その他

(1) 国保医療課所管の保険者別被保険者数	23
(2) 国保医療課所管の保険者別医療費	24
(3) 疾病の件数及び費用額の割合（大分類）[国保分・後期分]	25・26
(4) 市町村別保険医療機関数及び病床数	27



# 用語の解説

医 療 費	療養の給付（現物給付）、療養に要する費用（現金給付）など医療に要する費用の合計を医療費という。 医療費＝保険者負担分＋一部負担金＋公費負担分
応 益 割 合	保険料（税）のうち応益分（被保険者均等割と世帯平等割）の保険料（税）賦課総額に対する割合をいう。
療養給付費交付金	毎年度、被用者保険等の保険者が社会保険診療報酬支払基金に納付する拠出金から基金が市町村に交付しているもので、その額は退職被保険者等に係る医療給付に要する費用の額の合算額から退職被保険者等に係る保険料（税）に相当する額の合算額を控除した額である。
前期高齢者交付金	前期高齢者（65～74歳）の保険制度間の医療費負担の不均衡を調整するために、社会保険診療報酬支払基金が前期高齢者の加入率が全国平均より低い医療保険の保険者から集めた納付金を、前期高齢者の加入割合が高い保険者に交付しているもの。
老人保健拠出金	老人保健法に基づき実施される医療と保健事業に要する費用について、医療保険の各保険者が共同で拠出するもので、医療費拠出金、事務費拠出金、事業費拠出金に分かれる。
介護納付金	介護保険制度の実施に必要な財源として、医療保険の各保険者が、社会保険診療報酬支払基金の賦課に基づき納付する金額をいう。
後期高齢者支援金	後期高齢者医療制度における医療給付に要する費用の一部について、被用者保険及び国保の各保険者が拠出するもの。
老人・退職・一般 (国保被保険者の区分)	国保でいう「老人」とは、国保世帯に属する老人保健医療対象者を指す。「退職」とは、退職者医療制度に該当する退職被保険者とその被扶養者を指す。また、「一般」とは、「老人」及び「退職」に該当しない者を指す。 ※なお、平成20年4月より老人保健医療対象者が後期高齢者医療制度に移行したことにより、国保老人の該当者はいなくなった。
形式収支率	当該年度の決算ベースの収入決算額を支出決算額で除して100倍したものの。
単年度実質収支率	当該年度の実質的な収支状況である。 形式収支から退職者医療制度に係る収支を除き、更に収入から一般会計繰入金（職員給与費等、出産育児一時金、財政安定化支援事業、保険基盤安定繰入金及び地方単独事業に係る繰入金を除く。）、繰越金及び基金繰入金を、また、支出から前年度繰上充用金をそれぞれ除いた収支状況である。 この数値が100未満の場合には単年度で実質赤字であることを表す。
保険料（税）の軽減	市町村の条例で定めるところにより、所得の少ない世帯に対し、保険料（税）の応益分を、所得に応じ7割・5割・2割分軽減することができる。

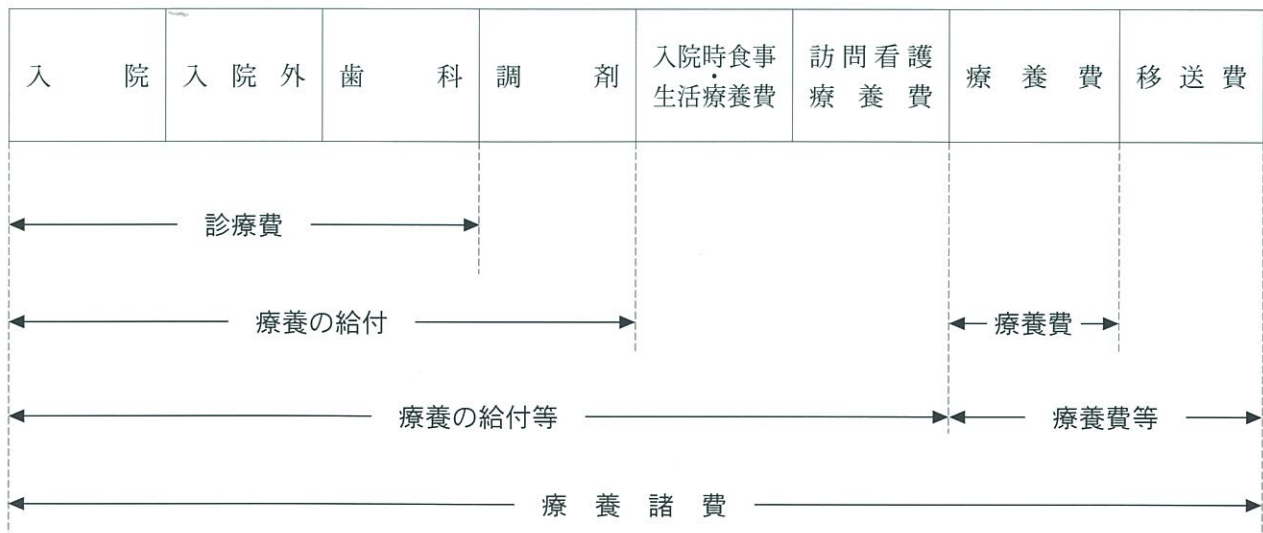
地 域 差 指 数	<p>実績給付費を基準給付費で除した数値のことで、年齢構成による市町村間の違いを除き、全国平均1,000に対し、当該市町村が高いか低いかを表すもの。</p> <p>実績給付費：給付費及び老人保健医療費拠出金の合計額（毎年6月審査実績による。）</p> <p>基準給付費：年齢階層別1人当たり医療給付費が全国平均と同じとした場合の給付費</p> <p>地域差指数＝実績給付費÷基準給付費</p>
診 療 費 の 3 要 素	<p>受診率，1件当たり日数，1日当たり診療費の3要素を診療費の3要素という。</p> <p>1人当たり診療費＝受診率（1日当たり／日）×1件当たり日数×1日当たり診療費</p>
受 診 率 (100人当たり／月)	<p>100人当たり1月にどの程度の頻度で医療機関にかかったかを示す指標をいう。</p> $\text{受診率} = \frac{\text{1年間の後期高齢者医療被保険者に対する医療機関の診療件数}}{\text{年間の平均後期高齢者医療被保険者数}} \div 12 \times 100$
1 件 当 たり 日 数	<p>当該年度の診療日数を診療件数で除したもの。</p>
1 日 当 たり 診 療 費	<p>当該年度の診療費を診療日数で除したもの。</p>

注1：国民健康保険関係の平成22年度の数値は、各保険者から報告のあった「平成22年度国民健康保険事業状況報告書（事業年報）」「平成22年度国民健康保険退職者医療事業状況報告書（退職者医療事業年報）」を取りまとめたものです（速報値）。

それ以外の数値については、出典等を別に記載しています。

注2：図表類の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が総数に合わない場合があります。

【療養諸費内訳】





# 国保の被保険者

平成22年度（年度末）の国保被保険者数は655,955人で、前年度から5,045人減少しました（図1）。

被保険者数の推移をみると、被保険者数全体では、平成7年度以降の増加傾向が平成18年度から減少傾向に転じ、平成20年度に大きく減少したのが特徴です（図1）。平成14年10月から老人医療の受給対象年齢が70歳から75歳に引き上げられたことにより、平成15年度以降老人の被保険者数が減少し、平成20年度には後期高齢者医療への移行により老人に該当する被保険者はいなくなりました。

また、平成20年4月から退職者医療制度が段階的に廃止されることとなり、65歳以上の退職被保険者及びその被扶養者が一般被保険者になったため退職の被保険者数は減少し、一般の被保険者数が増加しています。

図1 国保被保険者数の推移

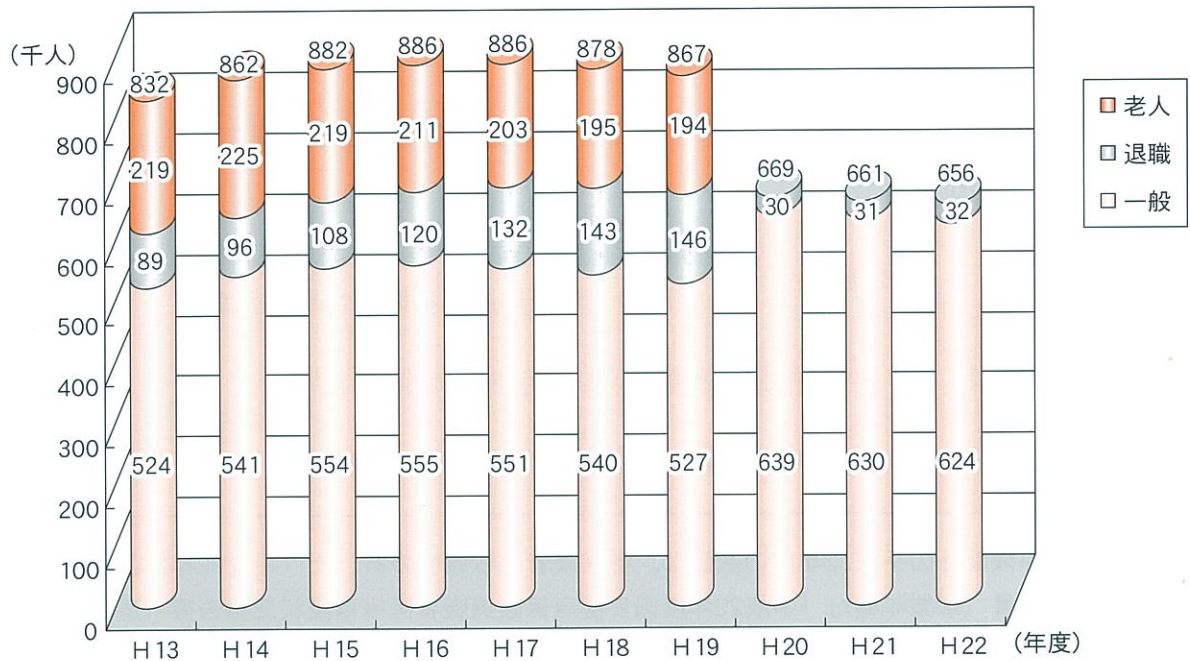
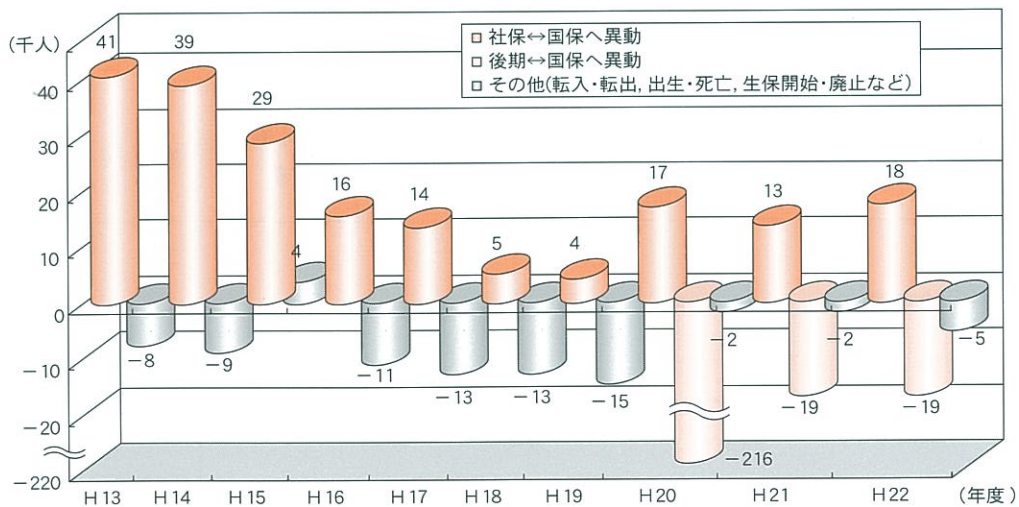
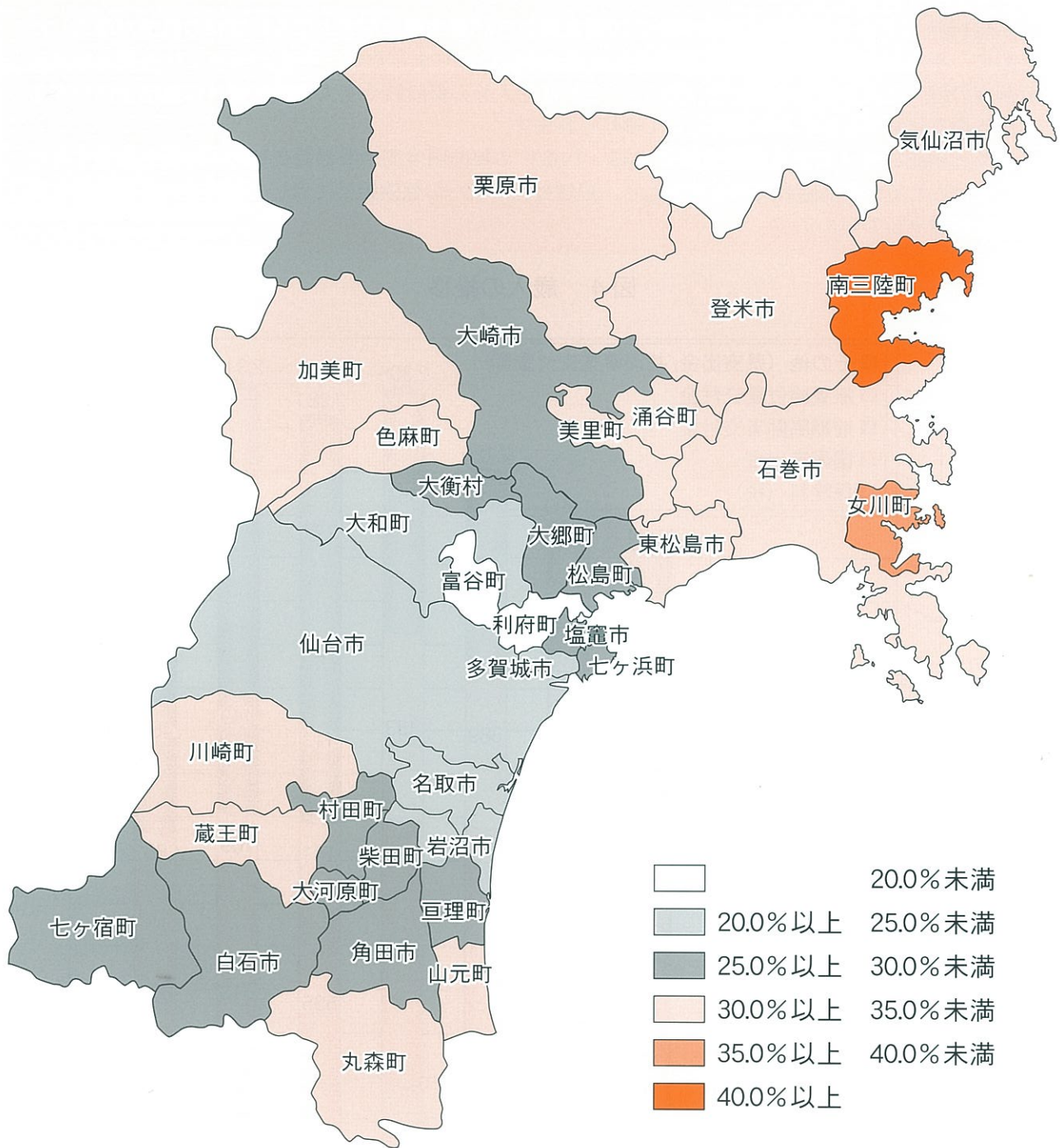


図2 国保被保険者数の増減（異動理由別）



（注）この図は、図1の被保険者数全体の対前年度変化の内訳を表しています。

図3 平成22年度国保加入率





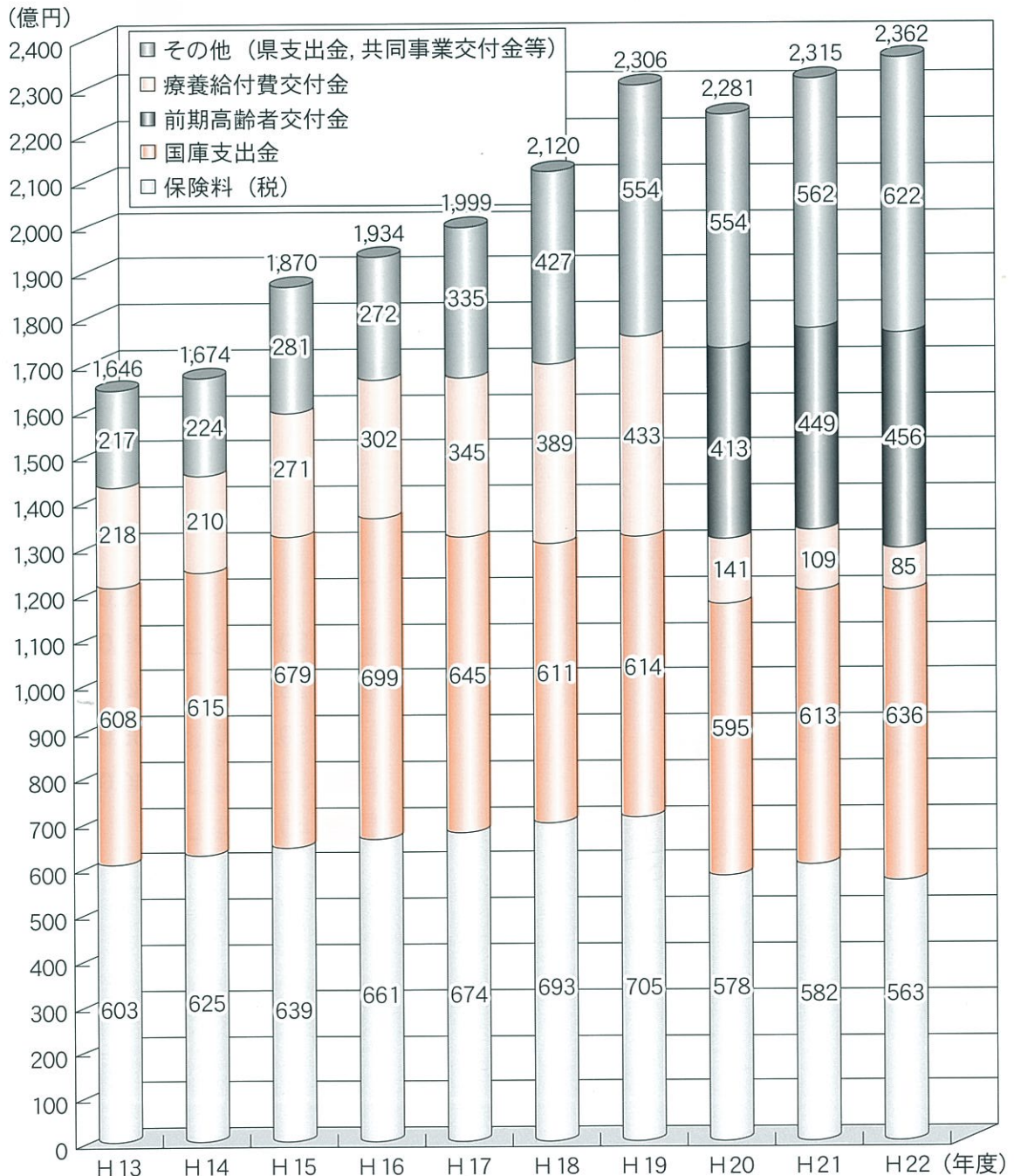
# 国保の財政（１）

平成22年度の歳入は、保険料（税）が約563億円、国庫支出金が約636億円、療養給付費交付金が約85億円、前期高齢者交付金が約456億円及びそのほか約622億円で総額約2,362億円（対前年度約2%増）です。

平成14年10月から国保加入対象年齢が70歳未満から75歳未満に引き上げられ国保の負担が増加したために、平成19年度までは歳入・歳出ともに増加傾向にありましたが、平成20年度には後期高齢者医療制度の導入により減少しました（図4）。これは老人分の保険料や老人保健医療への拠出金に対する国庫負担等が減少したことが要因として挙げられます。

また、平成20年4月から前期高齢者（65～74歳）の保険制度間の医療費負担の不均衡を調整するために交付される前期高齢者交付金に加わり、退職被保険者への保険給付に対して交付される療養給付費交付金が減少しています。

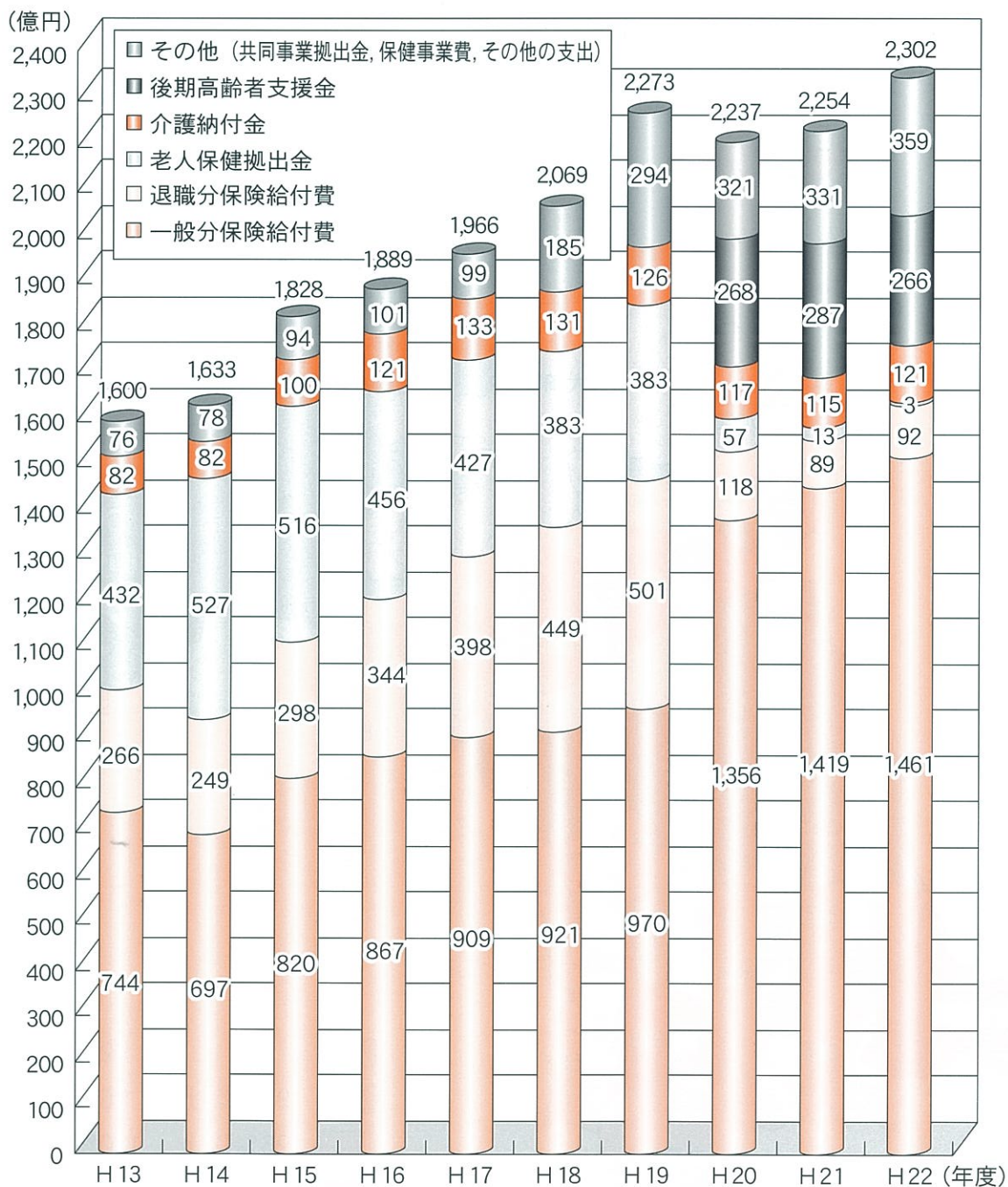
図4 歳入の推移





平成22年度の歳出は、一般分保険給付費が約1,461億円、退職分保険給付費が約92億円、老人保健拠出金が約3億円、介護納付金が約121億円、後期高齢者支援金が約266億円、その他が約359億円で総額約2,302億円（対前年度約2.1%増）です（図5）。平成20年度から退職者医療制度が段階的に廃止され、65歳以上の退職被保険者が一般被保険者になったことにより、退職分保険給付費が減少し、一般分保険給付費が増加の傾向にあります。

図5 歳出の推移





## 国保の財政（2）

平成22年度の形式収支率は県平均で102.62%（表1）、単年度実質収支率は、県平均で95.98%です（表2）。

形式収支率は、38の全保険者（35市町村と3国保組合）が100%以上になっていますが、一般会計や基金からの繰入金、退職者医療制度に係る分などを除いた単年度実質収支率で見ると、30保険者（30市町）が赤字になっています。

図6 平成22年度実質収支率

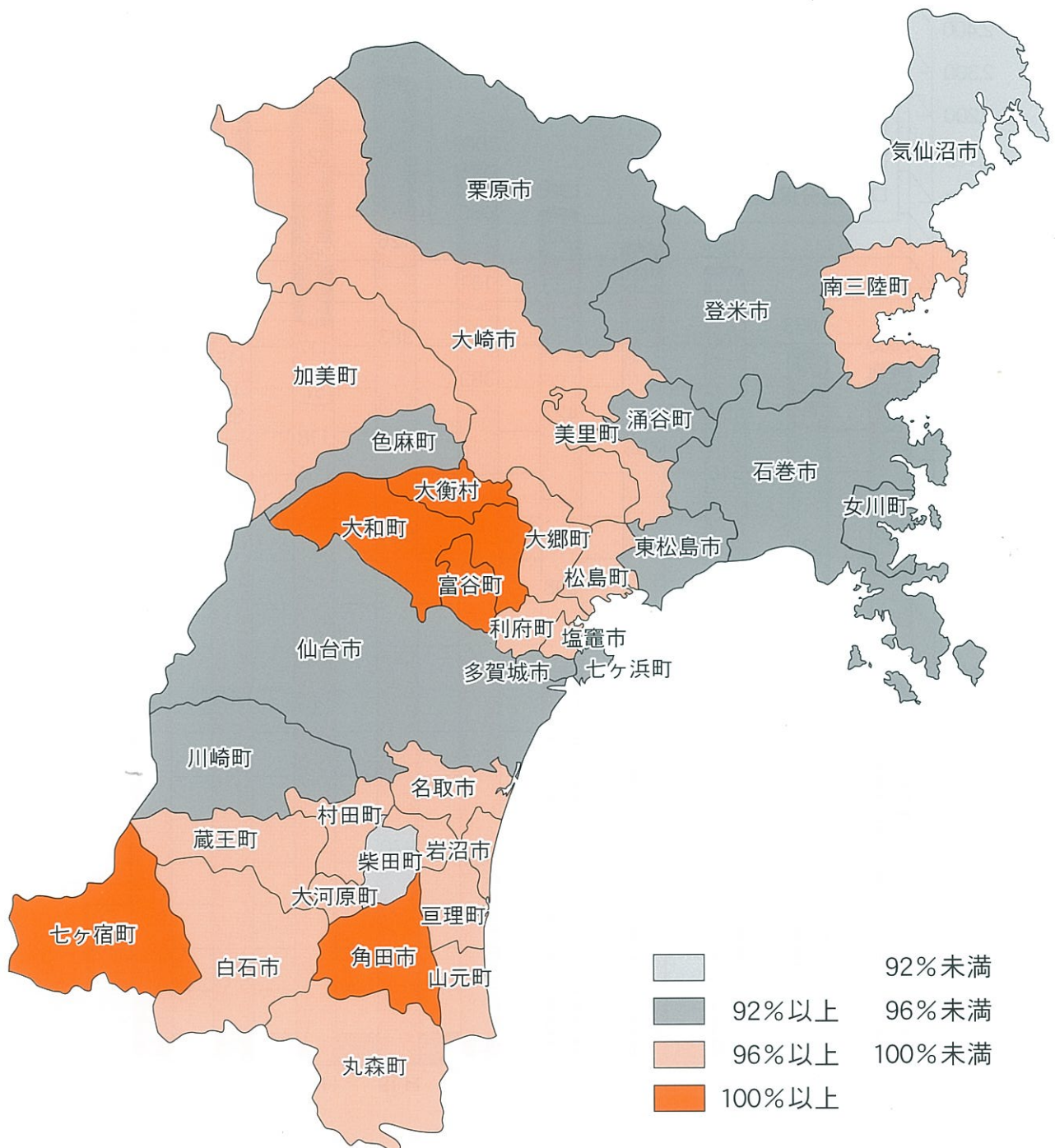




表1 形式収支率（平成22年度）

保険者番号	保険者名	%	順位
1	仙台市	100.00	34
2	石巻市	100.25	31
3	塩竈市	102.73	28
5	気仙沼市	103.49	21
6	白石市	106.53	10
7	名取市	102.81	27
8	角田市	103.28	23
9	多賀城市	100.23	32
11	岩沼市	111.27	2
12	蔵王町	104.29	20
13	七ヶ宿町	115.34	1
14	大河原町	106.39	13
15	村田町	105.57	14
16	柴田町	104.51	18
17	川崎町	100.00	34
18	丸森町	106.46	12
19	亘理町	107.36	6
20	山元町	105.08	16
22	松島町	107.82	4
23	七ヶ浜町	102.58	29
25	利府町	106.63	9
26	大和町	107.25	7
27	大郷町	107.37	5
28	富谷町	105.50	15
29	大衡村	107.00	8
33	色麻町	106.53	10
39	涌谷町	103.36	22
68	女川町	100.02	33
75	加美町	104.75	17
76	栗原市	101.75	30
77	登米市	102.93	25
78	東松島市	103.25	24
79	美里町	109.60	3
80	南三陸町	102.93	25
81	大崎市	104.31	19
301	歯科医師	114.58	
302	医師	114.59	
303	建設業	114.77	
	市町村計	102.25	
	県計	102.62	

表2 単年度実質収支率（平成22年度）

保険者番号	保険者名	%	順位
1	仙台市	95.28	24
2	石巻市	94.72	27
3	塩竈市	97.28	18
5	気仙沼市	91.80	34
6	白石市	98.43	15
7	名取市	97.19	19
8	角田市	100.44	5
9	多賀城市	93.34	31
11	岩沼市	98.48	14
12	蔵王町	96.46	21
13	七ヶ宿町	102.97	1
14	大河原町	99.13	10
15	村田町	99.98	7
16	柴田町	89.02	35
17	川崎町	93.73	30
18	丸森町	99.85	8
19	亘理町	99.43	9
20	山元町	97.11	20
22	松島町	97.83	16
23	七ヶ浜町	94.55	28
25	利府町	96.01	22
26	大和町	101.89	2
27	大郷町	98.87	12
28	富谷町	101.84	3
29	大衡村	101.83	4
33	色麻町	93.81	29
39	涌谷町	93.07	32
68	女川町	94.93	25
75	加美町	99.09	11
76	栗原市	92.83	33
77	登米市	94.91	26
78	東松島市	95.52	23
79	美里町	98.75	13
80	南三陸町	99.99	6
81	大崎市	97.59	17
301	歯科医師	103.41	
302	医師	104.71	
303	建設業	101.72	
	市町村計	95.77	
	県計	95.98	



# 国保の財政（税）

平成22年度の1人当たり保険料（税）調定額（現年分）は、市町村平均で89,496円で、前年度より3,022円減少しています。これは、保険料（税）の算定基礎となる所得の減少が要因の一つと考えられます。

図7 平成22年度1人当たり保険料（税）調定額（現年分）

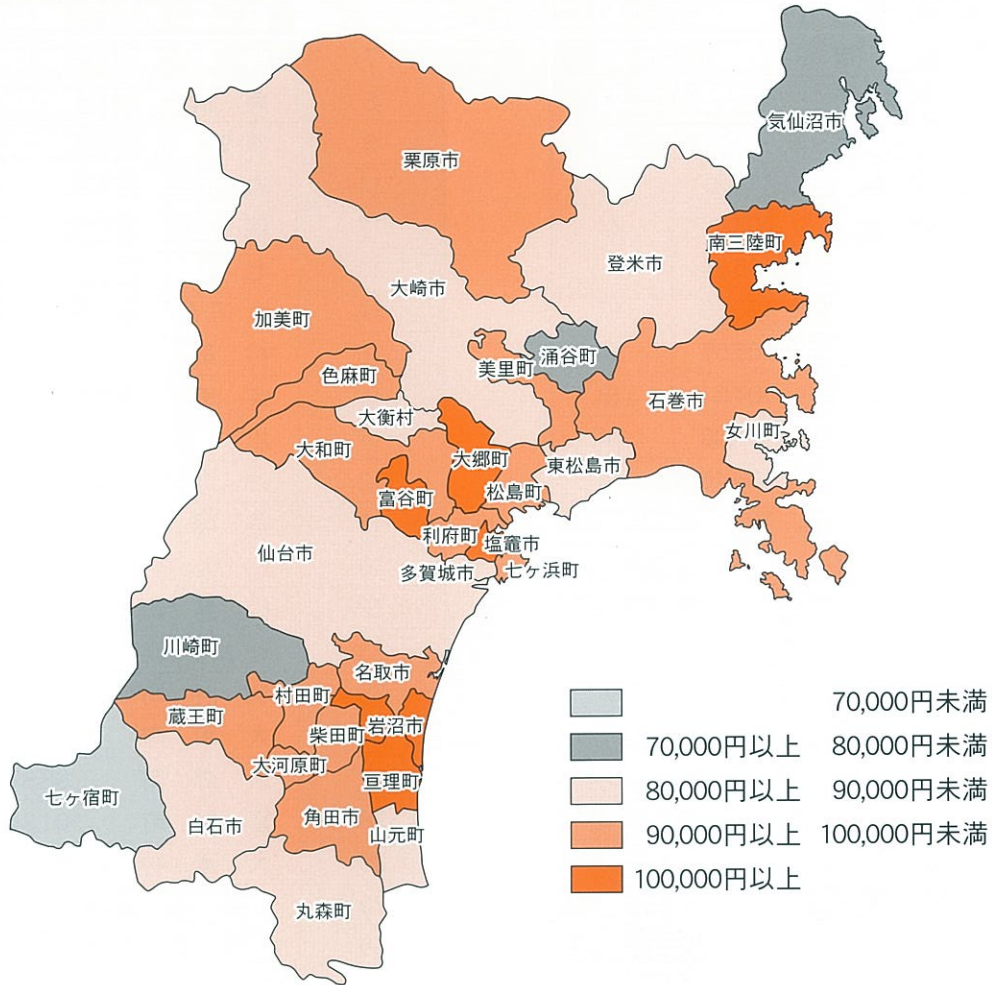
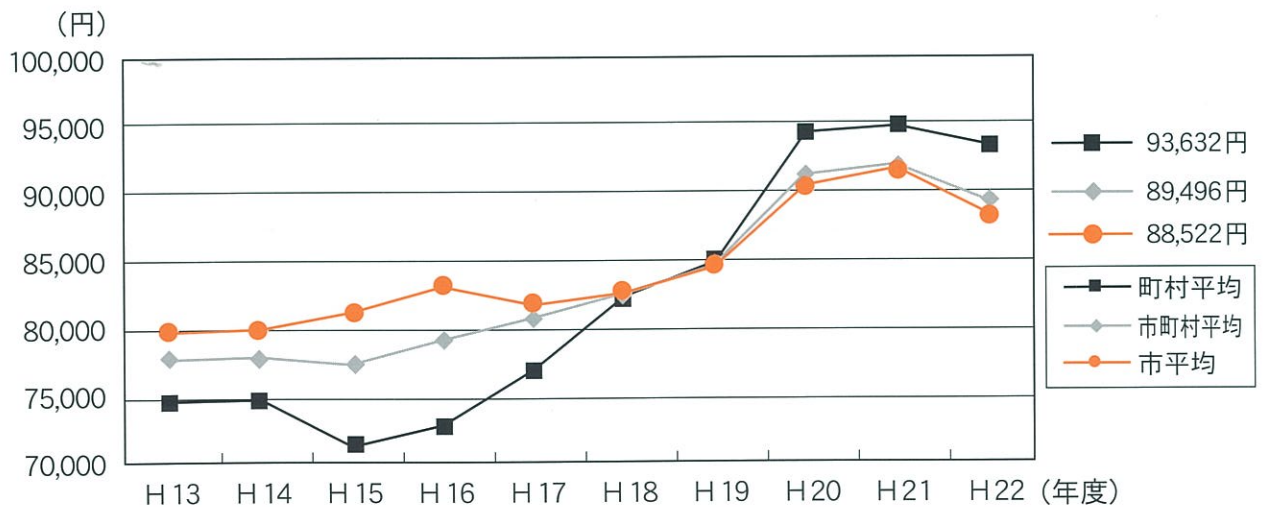


図8 1人当たり保険料（税）調定額（現年分）の推移



平成22年度の保険料（税）収納率（現年度）は、市町村平均が前年度と同率の86.44%でした。  
 保険料（税）収納率（現年度）の推移をみると、平成20年度は後期高齢者医療制度の創設に伴い、比較的収納率の高い75歳以上の被保険者が後期高齢者医療に移行したことなどにより、大幅に減少し、それ以降は低調傾向にあります。

図9 平成22年度保険料（税）収納率（現年分）

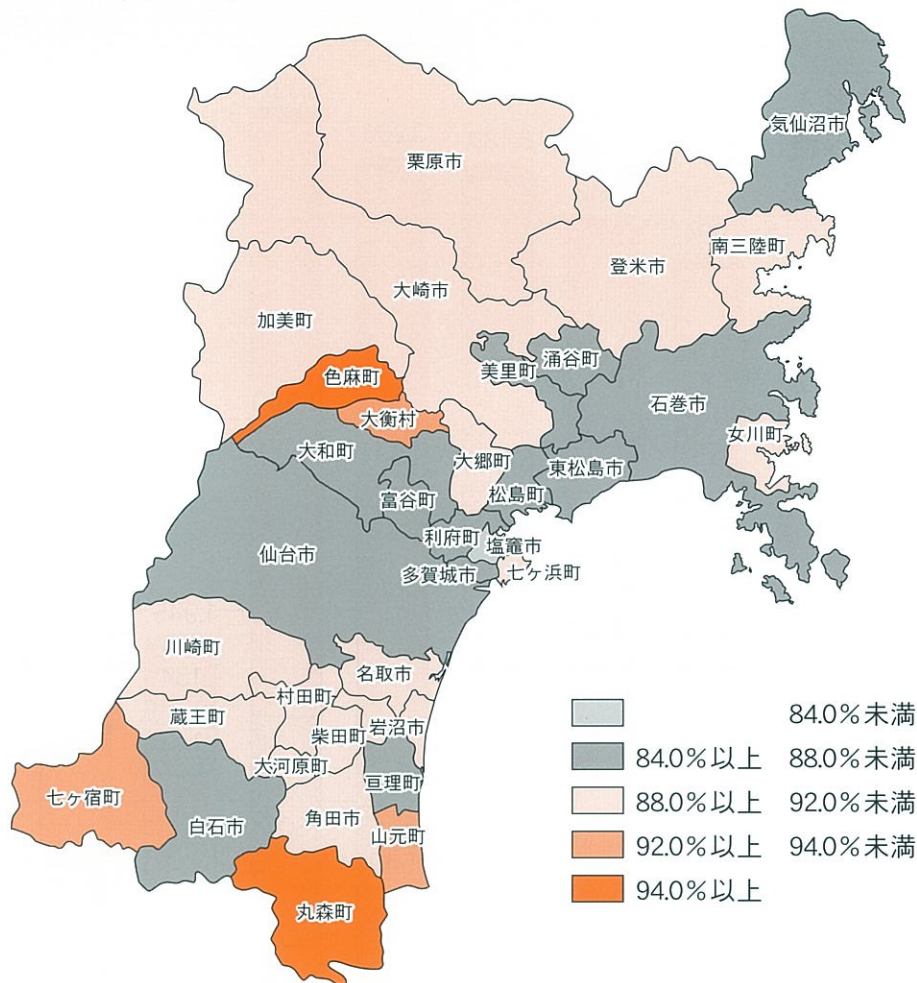
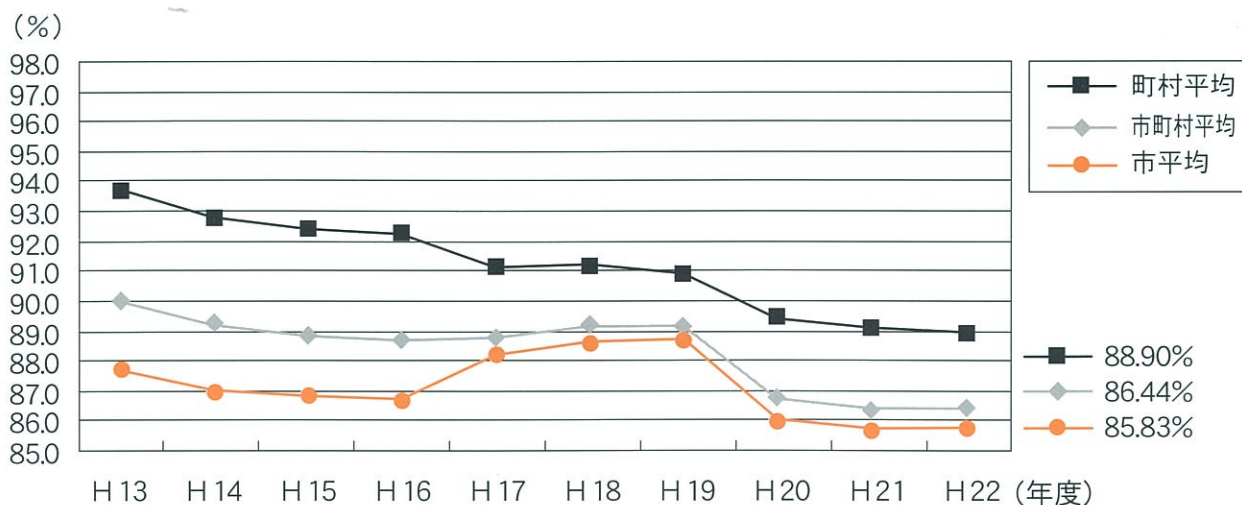


図10 保険料（税）収納率（現年分）の推移



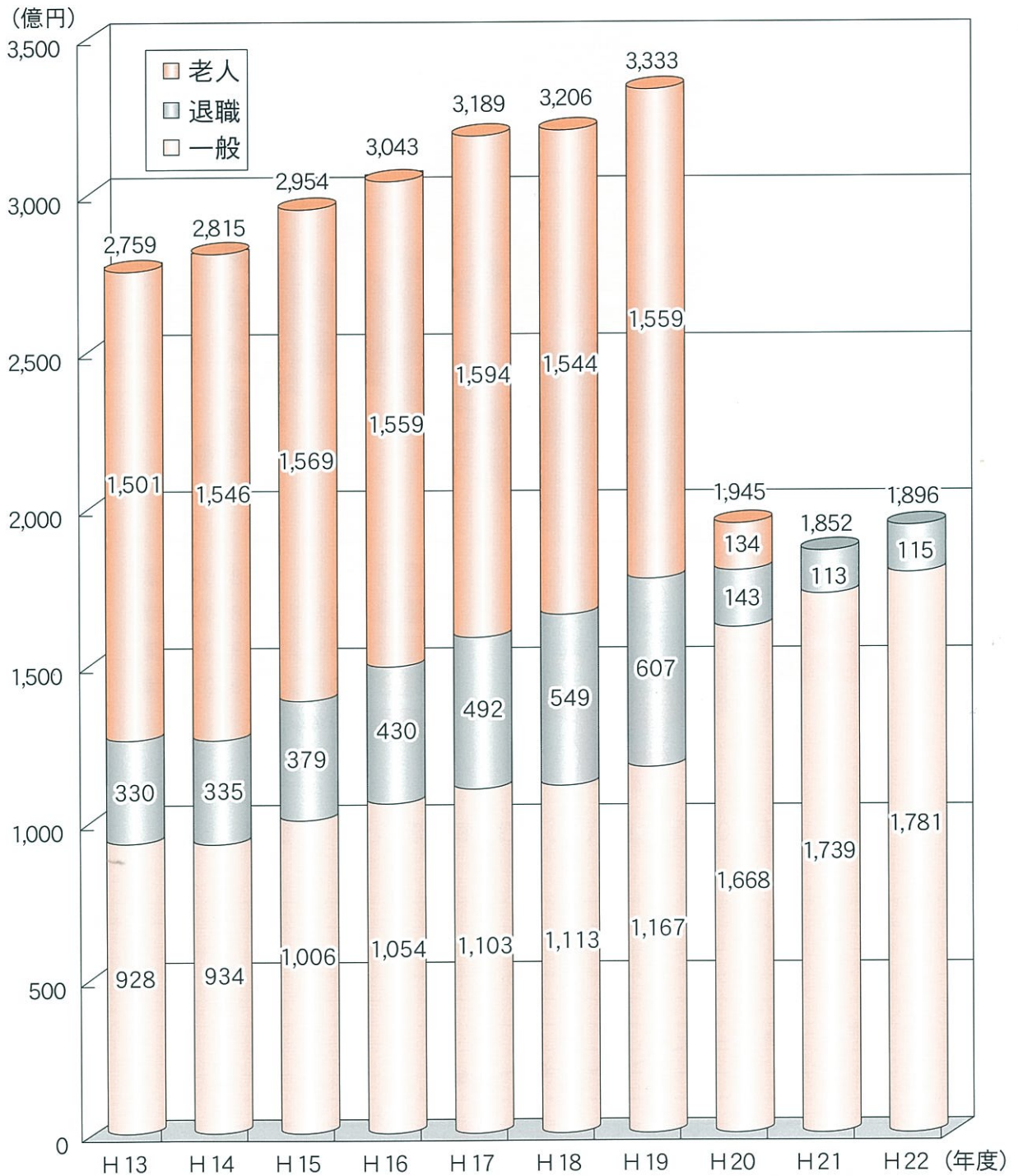


# 国保の医療費

平成22年度の国保の医療費は、一般分が約1,781億円、退職分が約115億円で総額約1,896億円（対前年度約2.4%増）です（図11）。

医療費の推移をみると、平成22年度の1人当たりの医療費は、一般で増加、退職で減少しており、一般と退職を合わせた国保全体では1人当たりの医療費は増加しています。（図13）。

図11 医療費の推移



※平成20年度の老人分は3月診療（4月支給）のみ。

図12 平成22年度1人当たり医療費

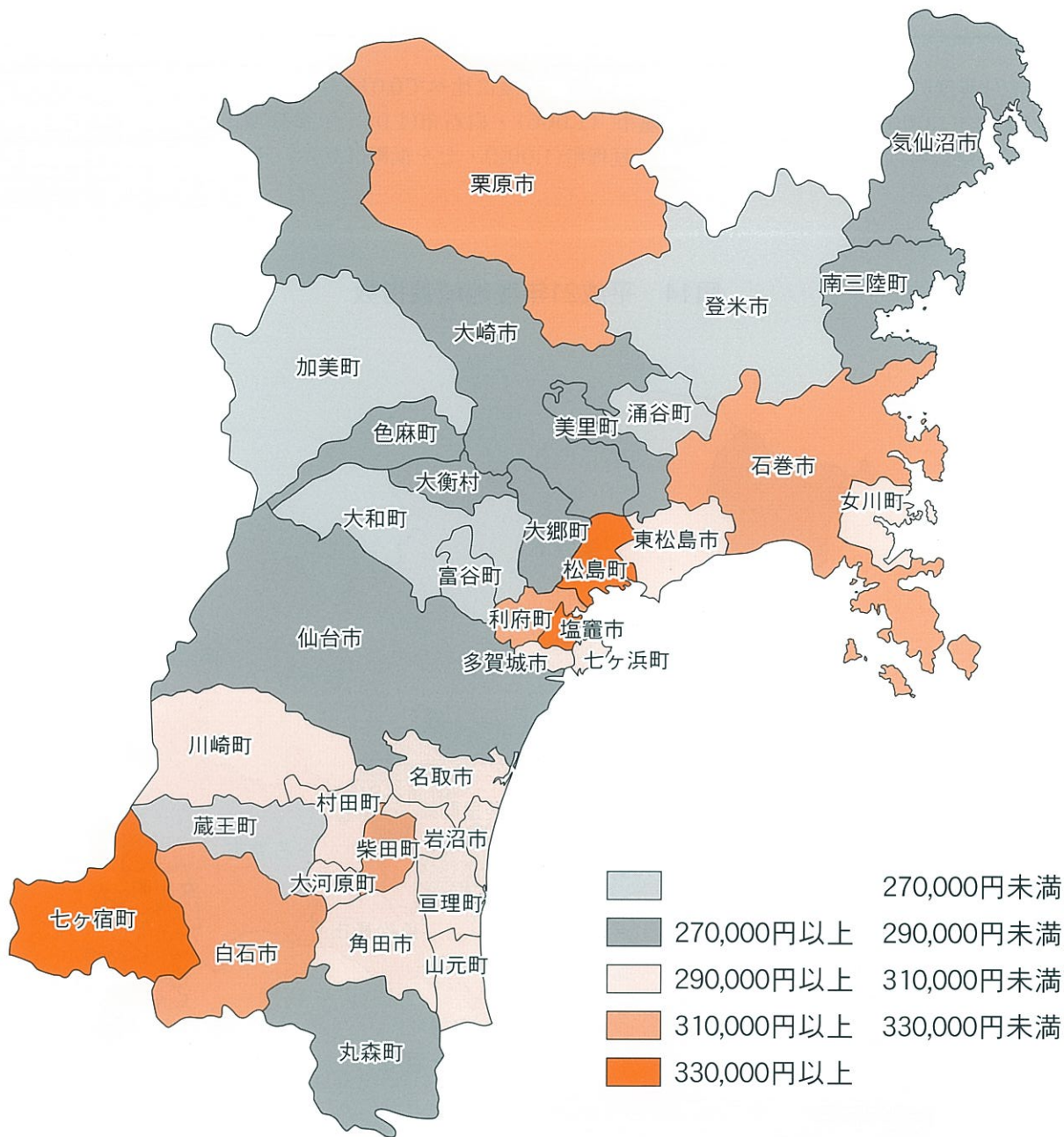
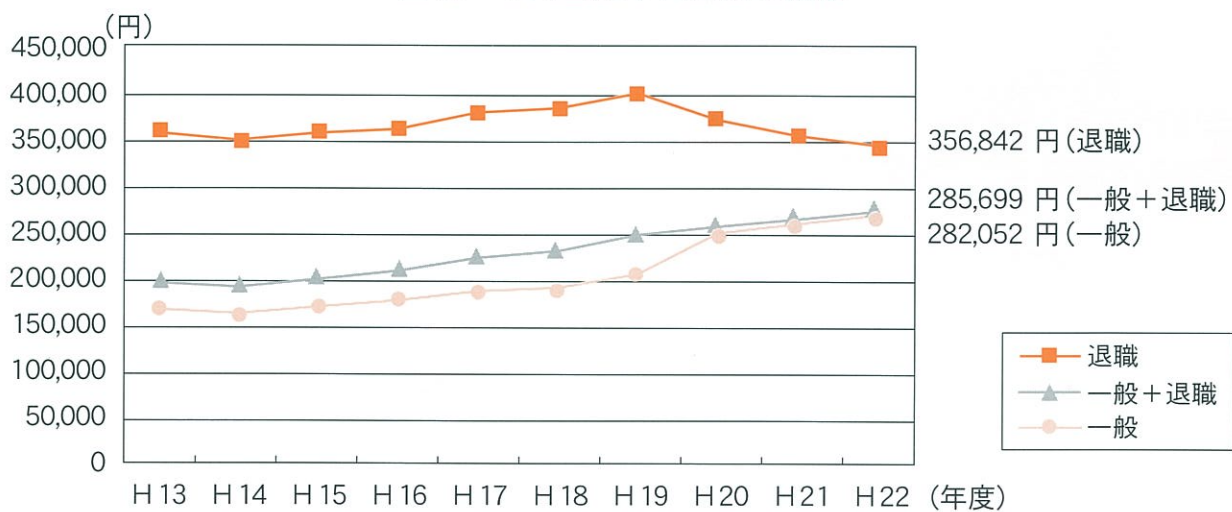


図13 1人当たり医療費の推移





# 国保の地域差指数

平成21年度の県全体の地域差指数は0.968で、前年度に比べて0.011ポイント減少しました。

全国平均(1.000)以上のところは、塩竈市(1.066)・白石市(1.051)・多賀城市(1.039)・七ヶ宿町(1.157)・柴田町(1.095)・川崎町(1.024)・亶理町(1.002)・七ヶ浜町(1.058)・利府町(1.026)の9市町となっています。

図14 平成21年度地域差指数

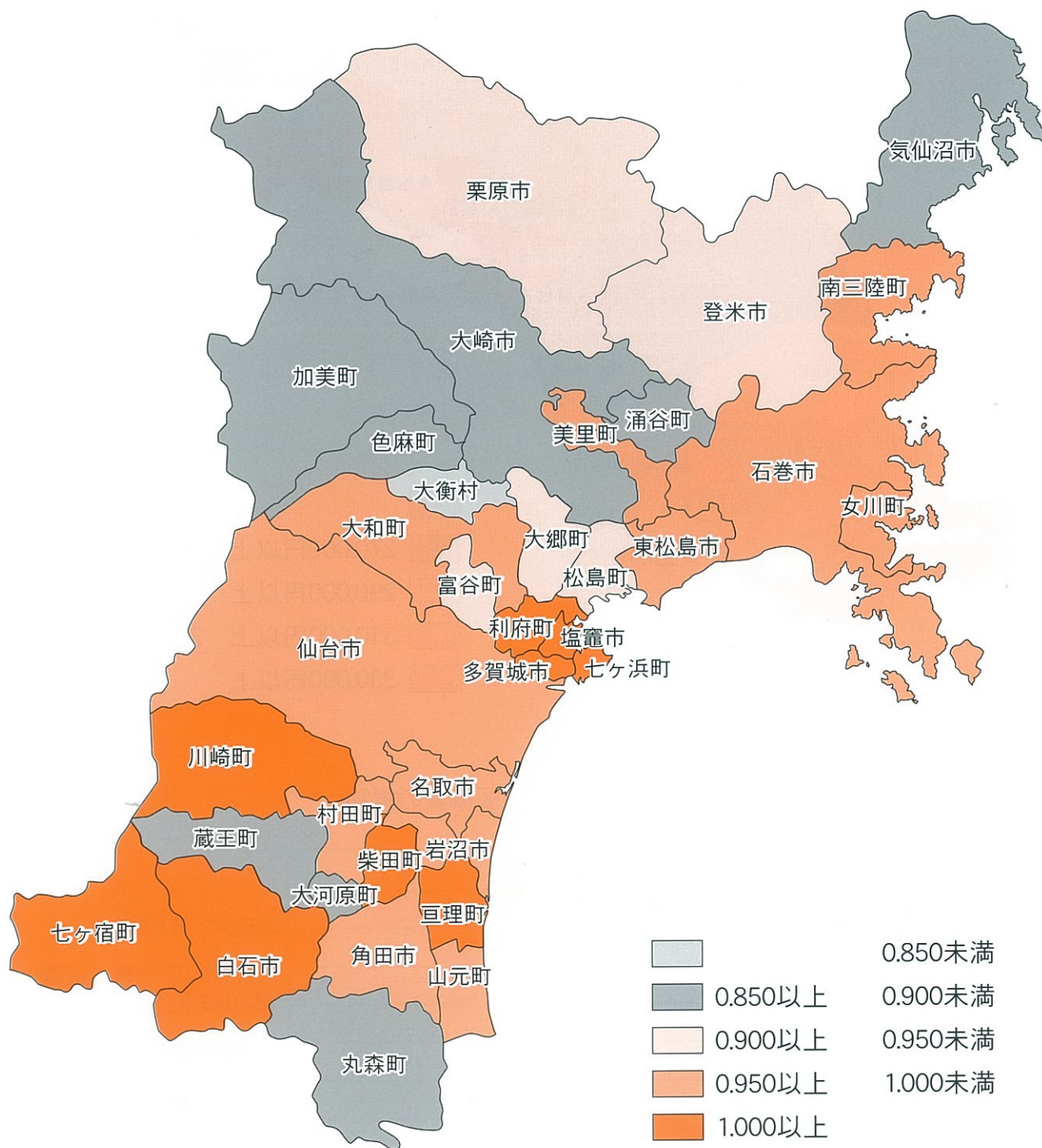




表3 地域差指数の推移

保険者番号	保険者名	平成19年度		平成20年度		平成21年度	
		指数	順位	指数	順位	指数	順位
1	仙台市	0.978	8	0.998	11	0.983	15
2	石巻市	0.977	10	1.000	10	0.996	11
3	塩竈市	1.035	1	1.080	2	1.066	3
5	気仙沼市	0.850	33	0.901	26	0.871	32
6	白石市	0.967	12	1.051	4	1.051	5
7	名取市	0.981	7	0.992	14	0.994	12
8	角田市	0.972	11	0.954	21	0.972	19
9	多賀城市	1.002	2	1.012	8	1.039	6
11	岩沼市	0.951	13	0.951	22	0.967	20
12	蔵王町	0.835	34	0.886	30	0.866	33
13	七ヶ宿町	0.835	34	1.122	1	1.157	1
14	大河原町	0.905	24	0.891	29	0.899	27
15	村田町	0.931	18	0.970	20	0.978	17
16	柴田町	0.983	6	1.010	9	1.095	2
17	川崎町	0.951	13	1.037	5	1.024	8
18	丸森町	0.927	19	0.880	32	0.879	31
19	亘理町	0.936	17	0.983	16	1.002	9
20	山元町	0.985	5	0.992	14	0.993	13
22	松島町	0.999	3	0.923	24	0.937	22
23	七ヶ浜町	0.917	20	0.993	13	1.058	4
25	利府町	0.978	8	0.975	18	1.026	7
26	大和町	0.944	16	1.021	7	0.982	16
27	大郷町	0.917	20	1.033	6	0.916	24
28	富谷町	0.893	27	0.883	31	0.911	25
29	大衡村	0.866	31	0.863	35	0.814	35
33	色麻町	0.888	29	0.982	17	0.894	29
39	涌谷町	0.895	26	0.871	34	0.859	34
68	女川町	0.986	4	1.075	3	0.973	18
72	本吉町	0.889	28				
75	加美町	0.820	36	0.895	28	0.882	30
76	栗原市	0.902	25	0.913	25	0.931	23
77	登米市	0.865	32	0.897	27	0.909	26
78	東松島市	0.947	15	0.995	12	0.999	10
79	美里町	0.886	30	0.935	23	0.985	14
80	南三陸町	0.917	20	0.973	19	0.961	21
81	大崎市	0.906	23	0.880	32	0.898	28
	宮城県	0.947		0.979		0.968	

出典：厚生労働省保険局国民健康保険課「(従来制度) 全保険者別地域差指数一覧」



## 国保の指標（平成22年度）

指標1 国民健康保険加入率

(年度末)

保険者番号	保険者名	%	順位
1	仙台市	24.5	30
2	石巻市	31.0	10
3	塩竈市	28.0	21
5	気仙沼市	32.9	5
6	白石市	27.8	22
7	名取市	23.7	33
8	角田市	27.3	23
9	多賀城市	24.9	29
11	岩沼市	23.8	32
12	蔵王町	30.5	13
13	七ヶ宿町	28.2	20
14	大河原町	25.2	28
15	村田町	28.4	19
16	柴田町	26.0	27
17	川崎町	32.1	8
18	丸森町	30.0	15
19	亘理町	28.7	18
20	山元町	32.2	7
22	松島町	28.9	17
23	七ヶ浜町	26.2	25
25	利府町	19.8	34
26	大和町	24.4	31
27	大郷町	26.5	24
28	富谷町	19.7	35
29	大衡村	26.1	26
33	色麻町	30.7	11
39	涌谷町	34.9	3
68	女川町	36.7	2
75	加美町	32.5	6
76	栗原市	30.3	14
77	登米市	33.0	4
78	東松島市	30.6	12
79	美里町	31.1	9
80	南三陸町	41.2	1
81	大崎市	29.5	16
	県計	26.9	

加入率については、平成23年3月31日現在の住民基本台帳人口（外国人登録者人口を含む）を基に算出。  
※女川町、南三陸町は、平成23年2月28日現在で算出。

指標2 1人当たり調定額

(現年分)

保険者番号	保険者名	円	順位
1	仙台市	86,482	27
2	石巻市	92,996	13
3	塩竈市	108,006	2
5	気仙沼市	78,719	32
6	白石市	84,405	29
7	名取市	93,231	12
8	角田市	97,138	9
9	多賀城市	86,490	26
11	岩沼市	100,923	5
12	蔵王町	92,289	15
13	七ヶ宿町	54,341	35
14	大河原町	90,486	20
15	村田町	97,308	8
16	柴田町	90,303	21
17	川崎町	78,266	33
18	丸森町	84,284	30
19	亘理町	100,200	6
20	山元町	87,411	25
22	松島町	92,478	14
23	七ヶ浜町	97,505	7
25	利府町	94,815	10
26	大和町	93,404	11
27	大郷町	102,384	4
28	富谷町	114,461	1
29	大衡村	88,845	24
33	色麻町	91,407	17
39	涌谷町	78,188	34
68	女川町	84,811	28
75	加美町	91,353	18
76	栗原市	91,807	16
77	登米市	83,822	31
78	東松島市	89,496	23
79	美里町	91,166	19
80	南三陸町	102,570	3
81	大崎市	89,550	22
301	歯科医師	153,628	
302	医師	170,865	
303	建設業	108,047	
	市町村計	89,496	
	県計	91,300	

指標3 応益割合

(一般被保険者分)

保険者番号	保険者名	%
1	仙台市	53.45
2	石巻市	48.21
3	塩竈市	55.29
5	気仙沼市	50.77
6	白石市	52.65
7	名取市	50.86
8	角田市	48.61
9	多賀城市	53.77
11	岩沼市	53.80
12	蔵王町	44.59
13	七ヶ宿町	48.67
14	大河原町	51.04
15	村田町	47.72
16	柴田町	50.95
17	川崎町	42.46
18	丸森町	51.46
19	亘理町	46.22
20	山元町	54.44
22	松島町	48.57
23	七ヶ浜町	53.95
25	利府町	51.30
26	大和町	51.45
27	大郷町	52.36
28	富谷町	52.65
29	大衡村	49.32
33	色麻町	51.85
39	涌谷町	52.64
68	女川町	47.21
75	加美町	49.93
76	栗原市	48.59
77	登米市	44.90
78	東松島市	49.37
79	美里町	48.16
80	南三陸町	44.02
81	大崎市	39.52
	県計	50.69

指標4 保険料（税）収納率

(現年分)

保険者番号	保険者名	%	順位
1	仙台市	84.21	34
2	石巻市	86.59	27
3	塩竈市	79.74	35
5	気仙沼市	85.68	32
6	白石市	86.61	26
7	名取市	89.08	15
8	角田市	90.30	10
9	多賀城市	86.86	25
11	岩沼市	88.30	21
12	蔵王町	88.81	17
13	七ヶ宿町	93.40	4
14	大河原町	89.80	14
15	村田町	90.73	8
16	柴田町	88.75	19
17	川崎町	89.07	16
18	丸森町	94.25	2
19	亘理町	87.24	22
20	山元町	93.69	3
22	松島町	87.00	24
23	七ヶ浜町	88.61	20
25	利府町	86.26	29
26	大和町	85.93	31
27	大郷町	90.01	12
28	富谷町	86.22	30
29	大衡村	92.96	5
33	色麻町	95.65	1
39	涌谷町	86.55	28
68	女川町	90.16	11
75	加美町	91.10	6
76	栗原市	90.42	9
77	登米市	89.85	13
78	東松島市	84.25	33
79	美里町	87.22	23
80	南三陸町	90.75	7
81	大崎市	88.81	17
301	歯科医師	99.86	
302	医師	100.00	
303	建設業	99.99	
	市町村計	86.44	
	県計	87.27	



指標5 医療費

(全体)

保険者番号	保険者名	円
1	仙台市	72,422,239,345
2	石巻市	15,891,985,804
3	塩竈市	5,358,491,228
5	気仙沼市	6,985,869,557
6	白石市	3,354,078,301
7	名取市	5,243,264,651
8	角田市	2,701,635,211
9	多賀城市	4,613,872,276
11	岩沼市	3,195,915,973
12	蔵王町	1,042,931,588
13	七ヶ宿町	186,149,896
14	大河原町	1,780,084,986
15	村田町	1,069,677,485
16	柴田町	3,168,242,213
17	川崎町	1,005,941,884
18	丸森町	1,376,806,446
19	亘理町	3,045,629,519
20	山元町	1,621,199,788
22	松島町	1,497,502,922
23	七ヶ浜町	1,611,714,692
25	利府町	2,155,757,921
26	大和町	1,668,697,085
27	大郷町	679,738,441
28	富谷町	2,545,196,485
29	大衡村	429,581,696
33	色麻町	640,088,621
39	涌谷町	1,658,316,334
68	女川町	1,169,036,567
75	加美町	2,325,416,476
76	栗原市	7,434,400,104
77	登米市	7,643,033,602
78	東松島市	3,927,834,615
79	美里町	2,286,899,432
80	南三陸町	2,106,412,580
81	大崎市	11,049,077,302
301	歯科医師	764,703,655
302	医師	871,426,056
303	建設業	3,102,259,102
	市町村計	184,892,721,026
	県計	189,631,109,839

指標6 1人当たり医療費

(一般)

保険者番号	保険者名	円	順位
1	仙台市	284,599	21
2	石巻市	307,468	9
3	塩竈市	327,286	2
5	気仙沼市	277,903	24
6	白石市	308,675	7
7	名取市	292,860	14
8	角田市	298,653	12
9	多賀城市	291,700	16
11	岩沼市	290,720	19
12	蔵王町	250,743	35
13	七ヶ宿町	359,030	1
14	大河原町	292,681	15
15	村田町	302,657	10
16	柴田町	312,371	4
17	川崎町	310,062	6
18	丸森町	281,323	23
19	亘理町	291,107	18
20	山元町	297,974	13
22	松島町	326,423	3
23	七ヶ浜町	291,128	17
25	利府町	307,626	8
26	大和町	263,326	31
27	大郷町	267,736	28
28	富谷町	262,067	33
29	大衡村	282,015	22
33	色麻町	268,685	27
39	涌谷町	258,452	34
68	女川町	298,658	11
75	加美町	266,831	30
76	栗原市	311,178	5
77	登米市	262,565	32
78	東松島市	289,555	20
79	美里町	276,724	25
80	南三陸町	271,481	26
81	大崎市	266,963	29
301	歯科医師	119,020	
302	医師	143,374	
303	建設業	198,063	
	市町村計	287,366	
	県計	282,052	

指標7 1人当たり医療費

(退職)

保険者番号	保険者名	円	順位
1	仙台市	340,356	27
2	石巻市	411,118	7
3	塩竈市	379,171	12
5	気仙沼市	335,261	29
6	白石市	374,918	15
7	名取市	378,158	13
8	角田市	355,087	23
9	多賀城市	369,270	19
11	岩沼市	388,019	9
12	蔵王町	341,828	26
13	七ヶ宿町	479,716	4
14	大河原町	323,035	30
15	村田町	379,871	11
16	柴田町	358,813	22
17	川崎町	279,466	35
18	丸森町	343,028	25
19	亘理町	371,954	17
20	山元町	304,378	33
22	松島町	428,149	6
23	七ヶ浜町	339,448	28
25	利府町	383,286	10
26	大和町	294,396	34
27	大郷町	557,619	1
28	富谷町	346,249	24
29	大衡村	430,208	5
33	色麻町	506,780	3
39	涌谷町	370,903	18
68	女川町	507,691	2
75	加美町	306,856	31
76	栗原市	374,239	16
77	登米市	306,641	32
78	東松島市	368,973	20
79	美里町	375,657	14
80	南三陸町	404,927	8
81	大崎市	359,557	21
	県計	356,842	

指標8 1人当たり医療費

(全体)

保険者番号	保険者名	円	順位
1	仙台市	286,632	22
2	石巻市	311,565	8
3	塩竈市	330,506	3
5	気仙沼市	282,771	26
6	白石市	313,876	6
7	名取市	298,320	14
8	角田市	303,316	11
9	多賀城市	295,970	17
11	岩沼市	298,099	15
12	蔵王町	256,501	35
13	七ヶ宿町	371,557	1
14	大河原町	295,401	18
15	村田町	306,059	10
16	柴田町	316,571	4
17	川崎町	308,477	9
18	丸森町	285,053	23
19	亘理町	297,077	16
20	山元町	298,454	13
22	松島町	331,673	2
23	七ヶ浜町	294,001	19
25	利府町	313,793	7
26	大和町	265,167	33
27	大郷町	283,579	24
28	富谷町	268,169	30
29	大衡村	288,892	21
33	色麻町	278,420	28
39	涌谷町	265,288	32
68	女川町	302,389	12
75	加美町	267,905	31
76	栗原市	314,351	5
77	登米市	265,061	34
78	東松島市	293,736	20
79	美里町	283,242	25
80	南三陸町	278,847	27
81	大崎市	272,669	29
301	歯科医師	119,020	
302	医師	143,374	
303	建設業	198,063	
	市町村計	290,904	
	県計	285,699	